

---

# 城西大学 留学生用ガイドブック

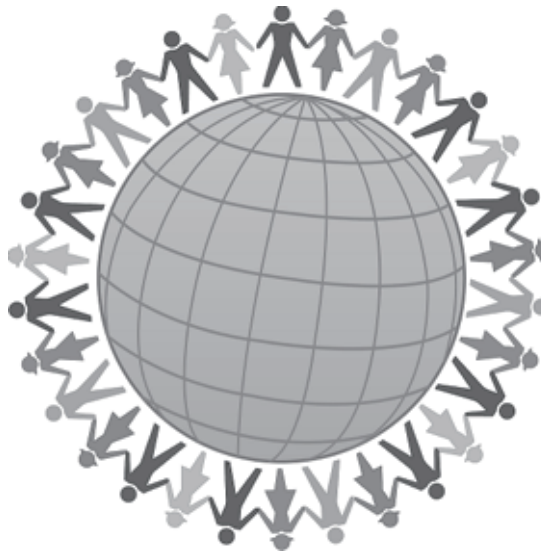
---

城西大学  
留学生生活指南

---

Josai University  
Guidebook for International Students

---



## 目次

### 1. 留学生支援センターについて

- 1) 留学生登録カード ..... 2
- 2) 大学登録情報の変更について ..... 2
- 3) 一時帰国/海外旅行について ..... 2

### 2. 在留資格について

- 1) 在留資格等について ..... 3
- 2) 在留期間更新 ..... 3~4
- 3) 資格外活動許可書 ..... 4
- 4) 本学卒業後も就職活動を目的として日本に滞在するには ..... 5~6
- 5) 所属機関変更に関する手続き ..... 6
- 6) 東京出入国在留管理局・さいたま出張所 ..... 7

### 3. 生活について

- 1) 住居 ..... 8
- 2) 在留カード ..... 8~9
- 3) 再入国の手続きについて ..... 9
- 4) 国民年金 ..... 9
- 5) 国民健康保険 ..... 10
- 6) マイナンバー ..... 10
- 7) 所得税免除について ..... 10
- 8) 生活情報等 ..... 11~12
- 9) 父母後援会 ..... 12

### 4. 学業について

- 1) 履修 ..... 13
- 2) 試験について ..... 13
- 3) 授業料減免制度 ..... 14
- 4) 奨学金 ..... 14

- (資料) 緊急時・連絡先リスト ..... 15

## 1. 留学生支援センターについて

留学生支援センターは、国際教育センター内に置かれています。

当センターでは、外国人留学生の皆さんが日本で生活するうえでのさまざまな相談に応じています。分からないことや困ったことがある時には、当センターに気軽に相談してください。

場 所：清光会館4階 国際教育センター内

窓 口：9:00~11:30 / 12:30~17:00(月~金)

掲示板：1号館側および清光会館4F国際教育センター事務室前

ホームページ: トップ画面上部のグローバルナビゲーションの「留学生」にリンクされたページ

※留学生への情報提供、伝達事項、行事のお知らせなどは、そのつど掲示板や大学ホームページでお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

### 1) 留学生登録カード

本学に入学した留学生は「留学生登録カード」を提出する必要があります。

必要事項を記入し、在留カード、パスポートと併せて速やかに留学生支援センターへ提出してください。

### 2) 大学登録情報の変更について

引越をして住所が変わった時や、携帯電話の番号が変わった時などは、必ず変更届けを学生サービス課に提出してください。用紙は各学部事務室にあります。

※上記の変更手続きがされないと、重要なお知らせや緊急の要件がある時に連絡が取れなくなりますので注意してください。

※在留資格更新後、新しい在留カードが手元に届いたら、速やかに在留カードのコピーを留学生支援センターへ提出してください。

### 3) 一時帰国/海外旅行について

在学中に母国へ一時帰国する場合には、必ず事前に所属学部事務室に相談をして了承を得た上で手続きをし、国際教育センターに届け出てください。

海外旅行をする際には、直接国際教育センターに来て届け出をしてください。

届け出用紙は当センター事務室にありますので、出国予定期間(出国日と入国日)と緊急連絡先などの情報を正確に記入してください。

## 2. 在留資格について

### 1) 在留資格等について

本学に在籍する留学生の在留資格は、主に「留学」です。

※「留学」以外から「留学」の在留資格に変更する場合は、入国管理局で在留資格変更の手続きをしてください。

必要書類は以下法務省のホームページで確認ができます。

【法務省】 在留資格変更許可申請:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-2.html>

【法務省】 留学:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/student.html>

### 2) 在留期間更新

**在留期間更新の手続きは、在留管理システム「JOINS」を使用して行います。**

現在の在留期限が近づくと在留期間更新申請に関する通知が皆さんの大学のメールアドレスに届きます。

通知は、在留期限が翌々月の学生に対してシステムから自動送信されます。

メール内容に従って、指定の期日までに申請者情報を更新してください。

→「JOINS」の詳しい操作方法は、新入生オリエンテーションでご説明します。

※申請には留学生支援センターが発行する大学作成の書類2枚が必要ですが、この書類は即日発行されません。時間に余裕をもって当センターへ大学分書類作成の申請をJOINSより行ってください。

大学分書類は成績・取得単位数・出席率等に基づき、入国管理局が定める「留学」の基準を満たす活動を行っているか確認のうえ作成をします。もし「留学」の在留資格を満たす活動を行っていないと大学が判断した場合は、この書類の作成ができず、その結果在留期間更新の申請ができなくなる可能性があります。また、学業の成果が乏しい学生には、入国管理局が在留期間更新を認めない場合もあります。

**「留学」の在留資格で就学されている留学生の皆さんは、普段から学業をおろそかにしないよう、十分気をつけてください。**

申請の際に経費支弁書・申請に係わる質問書・経費支弁を立証する資料(送金証明書、日本国内の預金通帳、奨学金受給証明書)の提出が求められます。

※現金の持ち込みは認められない場合もありますので注意してください。また他人から借りての入金も認められません。

※資格外活動(アルバイト)による収入がある場合は、給与を振込にしておくことで、経費支弁証明の際に役立ちます。

### 【必要書類】

- ①在留期間更新申請書(写真添付) ※申請人作成分3枚と大学作成分2枚
- ②パスポート 提示
- ③在留カード 両面のコピー
- ④在学証明書
- ⑤成績証明書(直近1年間分。前年度城西大学・城西短期大学以外の教育機関に在籍の場合は、前校の卒業証明書も提出。)
- ⑥経費支弁を立証する資料
- ⑦手数料4000円(新しい在留カード受領時に支払い。)  
※成績、取得単位数、前校の種別、在籍状況等によっては、上記以外の書類も必要です。  
※在留期間更新申請の際に、資格外活動許可申請を同時におこなうと便利です。  
※最新の必要書類についての情報は、下記の法務省のホームページから確認してください。

【法務省】 留学/在留期間更新:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/student.html>

**★在留期間更新後、新しい在留カードが手元に届いたら、速やかに在留カードのコピーを留学生支援センター(国際教育センター内)へ提出してください。**

### 3) 資格外活動許可書

留学生が留学中の学費やその他の必要経費を補う目的でアルバイトをおこなう場合には、必ず資格外活動許可が必要となります。なお、在留期間更新の際に、アルバイトの給与は口座振込にしておくことと経費支弁証明に役立ちます。

#### 【活動内容について】

- ①週28時間以内
- ②長期休業期間は1日8時間以内、週40時間まで

#### 【必要書類】

- ①資格外活動許可申請書
- ②パスポート
- ③在留カード(両面のコピー)  
※アルバイトを行う場合には、アルバイトの勤務先からマイナンバーの提出を求められます。(P10参照)

#### 【資格外活動(アルバイト)をする上での注意】

風俗営業・性風俗関連営業がおこなわれている所でのアルバイトは禁止されています。キャバレー、ナイトクラブ、バー、マージャン店・パチンコ店、ゲームセンター、ラブホテル、アダルトショップ、ダンスホールなどすべての性関連風俗店ではアルバイト(掃除など含む)が禁止されています。路上でのビラやティッシュ配りも上記店舗の宣伝の場合には同様に違反になります。これらでアルバイトをしていることが判明した場合、国外退去処分になることもありますので、十分注意してください。

## 4) 本学卒業後も就職活動を目的として日本に滞在するには

### (1) 『特定活動ビザ』について

卒業後も日本で引き続き就職活動を行いたい場合は、在留資格を現在の『留学』から『特定活動』へ変更する必要があります。留学ビザのまま就職活動を継続することはできません。

●『特定活動』への資格変更は、在学中から卒業後も引き続き就職活動を行う者にのみ与えられるもので、卒業後から就職活動をスタートする方は対象になりません。つまり、3月卒業の学生は3月より前、9月卒業の学生もそれ以前に活動を開始している必要があります。

●『特定活動』の在留期間は6ヵ月で、その間に就職先が決まらず、更に就職活動を行う際には、1回のみ更新(在留期間は6ヵ月)が可能です。延長の際も、資格変更時と同じ書類が必要になるため、就職活動の記録は各自で保管して下さい。

●大学等を卒業した留学生が卒業後も継続して「就職活動」を行う事を希望する場合のみ申請できるビザであり、その他目的の為に申請できません。

●詳細は、法務省ホームページ参照

「大学等を卒業後就職活動のための滞在をご希望のみなさまへ」

[https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan\\_nyukan84.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan_nyukan84.html)

### (2) 『特定活動ビザ』の資格変更に必要な書類

- ① 在留資格変更許可申請書 1通
- ② 写真(縦4cm×横3cm) 1葉
- ③ パスポート及び在留カード 原本提示
- ④ 申請人の在留中の一切の経費の支弁能力を証する文書 適宜
- ⑤ 直前まで在籍していた大学の卒業証書(写し)又は卒業証明書 1通
- ⑥ 直前まで在籍していた大学による継続就職活動についての推薦状 1通
- ⑦ 継続就職活動を行っていることを明らかにする資料

※ 日本で発行される証明書は全て発行日から3か月以内のものを提出してください。

### (3) 大学による継続活動についての推薦状申請について

以下の必要な書類を持って国際教育センターに申請をしてください。

- ① パスポート及び在留カード 原本提示
- ② 直前まで在籍していた大学の卒業証書(写し)又は卒業証明書 1通
- ③ 継続就職活動を行っていることを明らかにする資料 3社以上

**注意事項:** 継続就職活動を行っていることを明らかにする資料に関して

#### ① 就職活動の経過を客観的に証明する資料

応募した会社からの「エントリー受付メール」⇒「書類選考合格や不合格のメール」⇒「面接案内メール」⇒「一次面接合格や不合格のメール」などの経過が分かる資料。「先方の会社名」「学生本人の名前」「日付」の記載があることが必須条件です。

② エントリーをただけでは推薦状は発行できません。経過が分かるよう、エントリーした結果がわかる資料が必要です。

③ 数カ月に渡り、継続的に就職活動をしている必要があり、「一日に3社エントリーした。」「3日に渡り1社ずつ、計3社にエントリーした」等は認められません。

④ 在学中から上記の活動を行っていることが分かる資料。

⑤ 推薦状は申請したその日に発行できません。上記の書類がそろっていれば、原則翌日からお渡しします。ただし、書類不備等がある場合は、推薦状発行に日数を要する場合や、推薦状を発行できない場合もありますので、日程に余裕をもって申請してください。

★申請書は下記 法務省のホームページ からダウンロードしてください。

◎ 在留資格変更許可申請書:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/designatedactivities14.html>

◎ 資格外活動許可申請書:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-8.html>

◎ 在留カード漢字氏名表記申出:

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10\\_00019.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00019.html)

## 5) 所属機関変更に関する手続き

「留学」の在留資格を有する学生は、所属機関を変更した場合、14日以内に法務省令で定める手続により、出入国在留管理庁へ「活動機関に関する届け出」を提出することが義務づけられています。必ず学生個人で手続きを行ってください。

※城西大学・短期大学内で卒業/進学する場合は、提出が必要な場合と不要な場合がありますので、下記を確認してください。

<届出提出が必要>

他教育機関 卒業 → 城西大学・城西大学研究科・城西短期大学 入学

城西短期大学 卒業 → 城西大学 入学

城西大学別科 卒業 → 城西短期大学 入学

<届出提出が不要>

城西大学学部 卒業 → 城西大学研究科 入学

城西大学別科 卒業 → 城西大学学部・城西大学研究科 入学

◎ 出入国在留管理庁 所属(活動)機関に関する届出詳細

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10\\_00014.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00014.html)



## 6) 東京出入国在留管理局

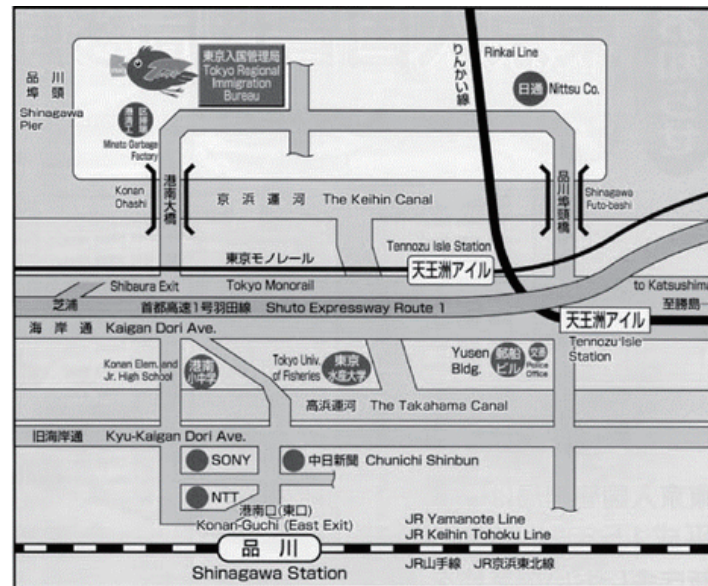
<https://www.moj.go.jp/isa/about/region/tokyo/index.html>

庁舎所在地: 東京都港区港南  
5-5-30

電話番号: 03-5796-7111

交通機関: JR品川駅港南口(東口)から都バス⑧番乗り場「品川埠頭循環」乗車、「東京出入国在留管理局前」下車 → 東京モノレールまたはJRりんかい線(埼京線乗入)天王洲アイランド駅から徒歩15分

受付時間: 9時~12時/  
13時~16時  
(土・日・休日を除く)



### 同さいたま出張所

※在留カードの住所が埼玉県の学生はさいたま出張所でも手続き可

所在地: 埼玉県さいたま市  
中央区下落合5-12-1  
さいたま第2法務総合  
庁舎1階

電話番号: 048-851-9671

交通機関: JR埼京線 与野本町  
駅下車 徒歩10分

受付時間: 9時~12時/  
13時~16時  
(土・日・休日を除く)

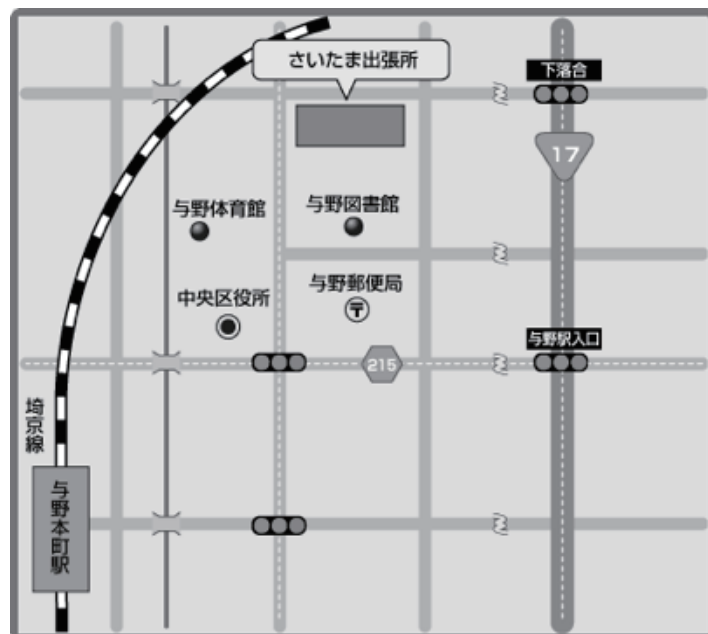
【城西大学からの行き方】  
(所要時間は約1時間30分)

#### ◆行き方1

川角駅(東武越生線)~約10分  
⇒ 坂戸駅(東武東上線・池袋行)  
~約10分 ⇒ 川越駅(JR埼京  
線・新木場/新宿方面)~約30分  
⇒ 与野本町駅~徒歩約10分

#### ◆行き方2

川角駅(東武越生線)~約10分 ⇒ 坂戸駅(東武東上線・池袋行)~約30分 ⇒ 朝霞台駅…(徒歩約2分)…北朝霞駅(JR武蔵野線・南船橋行)~約7分 ⇒ 武蔵浦和駅(JR埼京線・川越行)~約5分 ⇒ 与野本町駅~徒歩約10分



## 3. 生活について

### 1) 住居

私費留学生は主に不動産屋などで各自が下宿、アパートを探すことになります。

アパートを探していて、気に入った部屋が見つかったとき、後から正式に契約する約束で、「契約金の一部」を払い、他の人が借りないように部屋を確保しておいてもらうことがあります。この「契約金の一部」は「手付金」やその他いろいろな名称で呼ばれていますが、契約を取り消したとき(解約時)、トラブルになることがあります。「契約金の一部」として払ったお金はほとんど戻ってこない場合が多いようです。

お金を支払う前に、大家さんや不動産屋さんに以下のことを確認しましょう。

- 支払うお金がどのような性質のものか、そのお金は解約した場合に戻ってくるお金かどうかを必ず聞く。原則的に、自分が正式に契約するとはっきり決めるまでは、お金を払わない。
- 大家さんや不動産屋さんから聞いたことは必ず書面(文章)にしてもらう。
- 契約書はよく読み、意味が分からないことは分かるまで質問すること。

### 《住居の契約に関する用語》

【家賃】 1ヶ月の部屋代

【敷金】 家賃の滞納や部屋の損傷に対する保証金。

このお金は引越をする時、部屋の修理代を指し引いて残りがあれば返金がある。

【礼金】 契約の時、家主(大家さん)に支払う一時金。返金はされない。

【仲介手数料】 不動産屋を介して部屋を借りる時、不動産屋に支払う手数料。

※契約をした部屋に無断で他の人を居住させるのは違反です。また、部屋を出る時は必ず部屋代等の支払いを全て済ませてから部屋を空けてください。

※部屋を出る時はガス、水道、電気、の使用料等の支払いを全て済ませてください。



### 2) 在留カード

日本に留学で入国する時に空港で受領した在留カード(又は後で住所の届出をした時の郵送)は日本国に滞在中、外出する時は必ず携帯してください。警察官や駅員に提示を求められた時は提示する必要があります。このカードは合法的に入国していることを証明するものです。紛失しないように十分注意をしてください。

#### (1)住所の届出について

住まいが確定したら最寄りの区や市町村(区役所、市役所、町・役場)の住所等を管理している窓口にて14日以内に届出をしなければなりません。引っ越したときも同様に、14日以内にお住まいの区や市町村へ届け出をしてください。

## (2) 居住地以外の記載事項の変更届け出について

居住地以外の在留カード記載事項(氏名、生年月日、性別又は国籍・地域)に変更が生じたときは、変更が生じた日から14日以内に居住地を管轄する地方入国管理官署へ届出をしてください。

必要書類は下記法務省のホームページで確認してください。

【法務省】居住地以外の在留カード記載事項の変更届出:

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10\\_00009.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00009.html)

【入国管理局】地方入国管理官署:

<https://www.moj.go.jp/isa/about/region/index.html>

## (3) 在留カードの再発行申請について

在留カードを紛失した、盗難にあった場合は、速やかに警察に届けて証明書をもらい、14日以内に入国管理局へ再交付を申請してください。

また、在留カードが滅失した、著しい破損又は毀損した場合には、出来るだけ速やかに再交付申請をしてください。

## 3) 再入国の手続きについて

有効な旅券及び在留カードを所持する外国人の方が一時的に日本を離れる場合、出国時に再入国出入国記録で再入国の意志表示をしなければなりません。

出国の日から1年以内に再入国し日本での活動を継続する場合は、在留カードを提示するとともに、再入国用出入国記録の  **1.一時的な出国であり、再入国する予定です。** に必ずチェック(✓)を入れてください。これを忘れると再入国できませんので十分注意をしてください。なお、在留期限が出国後1年未満に到来する場合は**その在留期限までに再入国してください。**

詳しくは入国管理局のホームページで確認してください。

【法務省】入国管理局:

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/minashisainyukoku\\_00001.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/minashisainyukoku_00001.html)

※再入国する際に必ず在留カードを提出すること。

※帰国・出国の際には、当センターに必ず届け出てください。(2ページ参照)

母国から帰国した際に、著しい身体の異常や不調を感じられる時は通関時に申し出をしてください。また、帰国からしばらく経って、身体の変化を感じた場合には保健所などに連絡をしてください。

## 4) 国民年金

日本に住所を持つ20歳以上の方は「国民年金」に加入し、毎月保険料を納めなければなりません。これは、「留学」やその他の中長期滞在の在留資格を持つ20歳以上の外国籍の人も含まれません。学生で収入が無い場合は保険料の免除申請をすることができます。

## 5) 国民健康保険

日本では外国人留学生であっても、中長期滞在者は必ず国民健康保険に加入しなければなりません。

国民健康保険への加入手続きは、転入手続きをした市役所(区役所・町役場)などの国民健康保険担当課でおこないます。担当窓口にはパスポートと在留カードを持参して、書類に必要事項を記入してください。被保険者証が交付されます。

国民健康保険の加入にあたっては、月々の保険料の支払いが必要です。保険料は前年の所得(収入)に基づいて決められます。学生で所得がない場合、市役所で申請すれば、保険料が軽減されます。

医療機関で国民健康保険被保険者証を提示すると、医療費の30%の自己負担で治療を受けることが出来ます。

※保険・医療費補助の対象とならない治療もあります。

例: 鍼灸治療、人間ドック、健康診断、美容整形、予防注射など

日本では、国民健康保険証も重要な手続きの際の身分証明書として扱われます。無くしたり、貸し借りをしたりしないように注意しましょう。



### 交通事故でケガをした場合

治療費は加害者が負担するため、国民健康保険を使っても診察は受けることができません。

このような不慮の事故に備えるために、市・区役所で取り扱っている「交通災害共済」などに加入することもできます。

## 6) マイナンバー(社会保障・税番号制度)

マイナンバーとは日本の住民一人ひとりが持つ12桁の個人番号のことです。住民登録のある地方自治体から通知カードが交付され、皆さん一人ひとりの独自のマイナンバーが通知されます。希望者には個人番号カードが交付されます。今後、皆さんが行うさまざまな手続きでマイナンバー(個人番号)が必要になります。マイナンバーは、一生使うものです。情報が漏えいして、不正に使われるおそれがある場合を除いて、番号は一生変更されませんので、大切にしてください。

詳しくは、政府広報オンライン

[https://www.gov-online.go.jp/list/ct2\\_mynumber.html](https://www.gov-online.go.jp/list/ct2_mynumber.html) で確認してください。

## 7) 所得税免除について

中国人留学生の場合、所得税の全額免除を受けることが可能です。これは日中租税条約21条に基づいて、アルバイト給与が留学生本人および在日家族の生計、教育等に充てられている場合に限り、所得税全額免除を受けられます。中国以外の国の留学生については、国によって状況が異なりますので、最寄りの税務署(源泉所得税課)か税務相談室に直接問い合わせてください。また、「届出書」用紙は、各税務署に置いてあります。



## 8) 生活マナー・生活情報

### (1) ゴみの処理

- 家庭からのゴミには、いろいろな種類があり、処理方法も異なります。このため、日本では多くの地域で燃えるゴミ、燃えないゴミなどに分けて収集しています。
- 各地方自治体によって、ゴミの分別方法や収集日時が決められているので、住んでいる地方自治体の分別方法と収集日時に従ってゴミを正しく出してください。(間違ってお出したゴミは収集されず、周囲の方々に迷惑になるので注意してください。)

#### 【ゴミの分類例】 坂戸市の場合

- ・燃やせるゴミ：紙くず、木片・小枝、生ゴミ、布・革・ナイロン製品など
- ・燃やさないゴミ：靴類、プラスチック製品、なべ・アルミ製品、ガラス製品など
- ・資源ゴミ：プラスチック容器(袋・ラップ類、発泡スチロールを含む)、ペットボトル、カン・ビン
- ・資源紙：新聞紙・チラシ、雑誌、ダンボール、紙パック
- ・資源布：衣類全般



### (2) 騒音について

- 日本では、みんなが快適に暮らせるよう騒音や生活音に注意して生活をしています。特にアパートやマンションなどの集合住宅では、構造上話し声や足音が隣家や階下の部屋によく響くため、騒音でトラブルになることもありますので十分気を付けましょう。日中はもちろん、夜間は特に注意が必要です。

### (3) 交通機関利用マナー

- 公共の交通機関で携帯電話の通話はしないようにしましょう。また、電車やバスの車内で大声での会話や、決められた場所以外に荷物を置くなど、周りの人に迷惑になる行為をしてはいけません。

### (4) SNSについて

- 年々インターネットのトラブルが増えています。だまされたり脅されたりして不謹慎な画像を送らされたり、投稿した写真や動画による著作権・肖像権・プライバシー権侵害、他人によるなりすまし被害、フィッシングやオンライン詐欺などの被害等々が法務省から報告されています。

便利なインターネットを安全に利用するため、SNSの利用法をよく確認しましょう。

【総務省】インターネットトラブル事例集(2022年度版)：

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/jireishu.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html)

### (5) 自転車・バイクの運転について

- 歩行者は右側通行、自動車・自転車は左側通行。
- 2人乗りや無灯火で乗車しないでください。
- 駐車・駐輪は決められた場所に止め、必ず鍵を掛けましょう。
- 放置自転車には乗ってはいけません(犯罪です)。



- 新しい自転車を買った時は買ったお店で防犯登録をおこないましょう。中古また登録済の場合は、譲渡証明書をもらい、登録先の警察署で防犯登録の変更をおこないましょう。
- 東京都、埼玉県、神奈川県などでは、条例により自転車損害保険等への加入が義務化されました。自転車に乗る学生は、お住いの場所のホームページを確認し、保険に必ず加入してください。東京都：<https://www.tomin-azen.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/anzennriyou-sokushin/jitenshahoken/>埼玉県：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0311/jitensya/jitensyajyourei.html>神奈川県：<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f5g/310322.html>

### (6) 自然災害

日本は地震が多い他、大雨・台風などによる災害も起こりえます。災害が起きた時に焦ったり、あわてたりしないよう、日ごろから緊急時の対応・避難について理解するとともに、備蓄品や非常持ち出し品を用意しておくことが大切です。

政府広報オンライン([https://www.gov-online.go.jp/list/ct1\\_saigai\\_fukko.html](https://www.gov-online.go.jp/list/ct1_saigai_fukko.html))で防災の情報や災害発生時の対応法など大切な情報を提供していますので、よく確認してください。

以下、政府広報オンライン(内閣府大臣官房政府広報室)HPからの抜粋

- 地震が発生したときの、身の守り方を知っておく  
家の中：座布団などで頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。あわてて外へ飛び出さない。もし、火が発生した場合には可能ならば火の始末、火元から離れている場合は無理して火元に近づかないようにする。  
屋外：ブロック塀や自動販売機など倒れてきそうなものから離れる。看板、割れた窓ガラスの破片が落下することがあるので建物の周囲から急いで離れる。
- ライフラインの停止や避難に備えておく  
大災害が発生した時には、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。また、自宅が被災した時には、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。避難生活に必要なもの(非常用持ち出し品)をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。
- 大学等で行われる避難・防災訓練等には積極的に参加して下さい。

## 9) 父母後援会

「父母後援会登録書」の父母欄の記載者(学費負担者)が在学中に亡くなられた場合は、当センターまで連絡してください。

## 4. 学業について

### 1) 履修

#### (1) 履修について

大学では、自分の受ける授業を自分で決める必要があります。これを「履修」といいます。また、自分の受けたい授業科目を大学に対して申請することを「履修申請」といいます。受ける授業を決める「履修申請」は、年度初めにある重要な手続きです。必ず毎年度おこなうことになります。



#### (2) 履修の方法

履修の方法については、外国人留学生も一般学生も基本的に同じです。ただし外国語科目については日本人学生とは履修方法が異なりますので、注意してください。履修については、入学から卒業まで計画的に段階を追って進めてください。学生便覧、シラバス、授業時間割表などをよく読み、いろいろな注意事項を理解したうえで、履修申請をして下さい。誤った履修申請をおこなうと、進級や卒業にさしさわることがあります。履修についてわからないことがあったら、必ず自分が所属する学部事務室で相談してください。

#### (3) 履修の申請

履修申請は1科目といえども登録もれや登録間違いがあってはならない手続きです。ここでミスがあると、せっかく1年間授業に出席して、試験を受けてもその科目は無効の取り扱いを受ける結果となってしまいますので、十分に注意して申請しなければなりません。

これら履修申請に関する手続きは、すべて皆さんひとりひとりが自己の責任においておこなうものですので、分からないことがある場合は必ず所属する学部事務室に確認して下さい。

### 2) 試験について

試験には次の種類があります。

- ①定期試験：学事曆に示された学期末または学年末の試験期間中におこなう試験。
- ②追試験：病気、その他やむを得ぬ理由により受験できなかった学生に対しておこなわれる試験。詳細は学生便覧に書かれていますが、この試験を受けるためには、学部事務室での特別な手続きが必要です。
- ③再試験：詳細は学生便覧に書かれています。



試験は通常の学習成果を問うものですから厳正な態度でのぞまなくてはなりません。

学生便覧をよく読むとともに試験時間割などの掲示を見落さないよう、十分に注意してください。

※試験を受けるときには、学生証を必ず机上に置いて受験しなければなりません。試験当日、学生証を忘れてしまった場合は学生サービス課で仮受験票を借りてください。

※不正行為は、学則により厳重に処分の対象になります。結果として留年に結びつくことが多く、学生として大変不名誉な事です。

### 3) 私費外国人留学生 授業料減免制度

本学には、一般私費留学生の正規生(別科生を除く)を対象にした授業料減免制度があります。

授業料減免の対象者(在留資格が「留学」であること)は納付期限までに学納金が納められていることや、出席率が良好であることが前提となります。

なお、次のいずれかに該当する者は、減免制度の対象にはなりませんので十分注意して下さい。

- ① 前年度の成績評価指数が大学が定める基準を下回る者(2年生以上が対象)
- ② 出席日数等の状況から、学業継続の意思がないと認められる者(出席率を重視します)
- ③ 学業成績不振で、成業の見込みがないと認められる者
- ④ 経済的に困難な状況と認められない者
- ⑤ 留年した者
- ⑥ 休学中の者
- ⑦ その他、本学学則、その他規則等に反する行為等、本学学生としての品性に問題があると認められる者

※毎年5～6月に説明会を開いていますので、対象者で減免を希望する留学生はホームページや学内掲示板等を見てチェックして下さい。

### 4) 奨学金

当センターでは外国人留学生向けの奨学金募集の情報提供および募集をおこなっています。奨学金には大きく分けて、大学を通して申請する奨学金と、個人で応募する奨学金の2種類があります。これら奨学金の募集案内のお知らせは、国際教育センター事務室前の掲示板、大学ホームページに掲載しますので、見落としのないようにしてください。

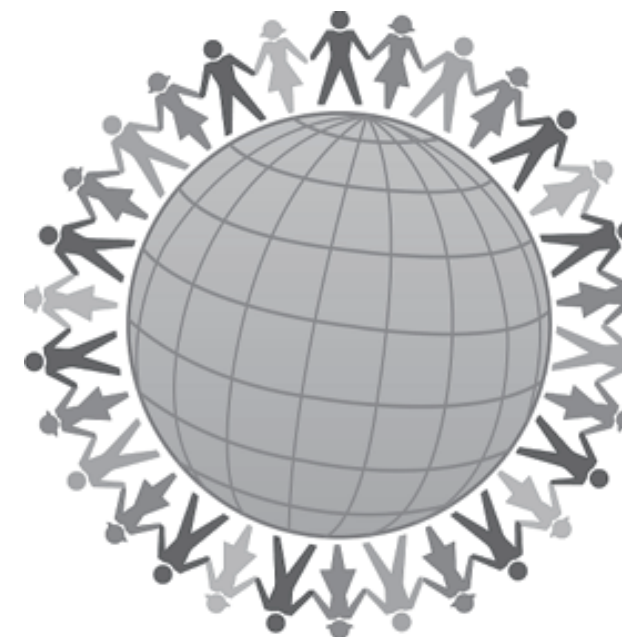
※ HPの奨学金情報は[城西大学\(トップページ\) > 留学生の方 > 奨学金](#)から確認してください。



## (資料) 緊急時の連絡先リスト

対象地域	【機関名】 電話番号／連絡先
全 国	<b>【警察】</b> 電話：110
	<b>【消防・救急】</b> 電話：119
	<b>【AMDA 国際医療情報センター】</b> 医療関連の電話相談を受けるサービス 電話：03-6233-9266(月～金 10:00～15:00 やさしい日本語で対応) (HP) <a href="https://www.amdamedicalcenter.com/">https://www.amdamedicalcenter.com/</a>
埼 玉	<b>【埼玉県救急電話相談】</b> 急な病気やけがの際に、家庭での対処方法や医療機関への受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じるサービス。 電話：7119 または 048-824-4199(毎日・24時間受付) (HP) <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20151214.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20151214.html</a>
	<b>【外国人総合相談センター埼玉】</b> 電話で生活相談を受けるサービス 電話：048-833-3296(月～金 9:00～16:00) FAX:048-833-3600 /e-mail:sodan@sia1.jp (HP) <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/sogo-sodan.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/sogo-sodan.html</a>
東 京	<b>【東京消防庁救急相談センター】</b> 急な病気やけがの場合に、医療機関受診等で迷った際の相談窓口。 相談医療チームが24時間電話相談に応じるサービスと、パソコンやスマートフォンで質問に答え、簡単に緊急度の確認ができるサービス。 電話で相談：7119 (HP) ネットでガイド(東京版救急受信ガイド): <a href="http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html">http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html</a> (HP) <a href="http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/kyuu-adv/soudan-center.htm">http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/kyuu-adv/soudan-center.htm</a>
	<b>【東京都 福祉保健局】</b> 外国語による医療機関案内サービス 電話：03-5285-8181(毎日 9:00～20:00)
	<b>【東京都 医療機関・薬局案内サービス】</b> 東京都内の医療機関の情報と薬局情報を提供するサイト。 (HP) 医療機関・薬局を探す: <a href="https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/index.php">https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/index.php</a>
城西大学(代表)	電話：049-286-2233
留学生支援センター・ 国際教育センター	電話：049-271-7731/ e-mail : <a href="mailto:iec@stf.josai.ac.jp">iec@stf.josai.ac.jp</a>

# 留学生生活指南



## 目 录

### 1. 关于留学生支援中心

- 1) 留学生登记卡 ..... 2
- 2) 关于大学登记信息的变更 ..... 2
- 3) 关于临时回国/海外旅行 ..... 2

### 2. 关于在留资格

- 1) 关于在留资格等 ..... 3
- 2) 在留期间更新 ..... 3~4
- 3) 资格外活动许可书 ..... 4
- 4) 从本校毕业后以就职为目的继续留在日本时 ..... 5~6
- 5) 关于所属机构电报手续 ..... 6
- 6) 东京出入国在留管理局·埼玉办事处 ..... 7

### 3. 关于生活

- 1) 住宿 ..... 8
- 2) 在留卡 ..... 8~9
- 3) 关于重新入境手续的办理 ..... 9
- 4) 国民养老保险 ..... 9
- 5) 国民健康保险 ..... 10
- 6) 个人专用编号 ..... 10
- 7) 关于免除所得税 ..... 10
- 8) 生活信息等 ..... 11~12
- 9) 父母后援会 ..... 12

### 4. 关于学业

- 1) 履修 ..... 13
- 2) 关于考试 ..... 13
- 3) 学费减免制度 ..... 14
- 4) 奖学金 ..... 14

(资料) 紧急联络方式 ..... 15

## 1. 关于留学生支援中心

留学生支援中心设置在国际教育中心内。

本中心受理各位外国留学生在日本生活时遇到的各种问题。如果有不清楚的事情或者遇到什么困难, 欢迎您首先选择本中心进行咨询。

地 点: 清光会馆4楼 国际教育中心内

窗 口: 9: 00~11: 30/12: 30~1 7: 00(星期一~星期五)

公告栏: 1号馆旁边及清光会馆4楼国际教育中心办公室前

主 页: 顶部屏幕的导航中链接到“留学生”的页面

※我们会将与留学生有关的信息、传达事项、活动通知等公示在布告栏以及学校主页上, 请各位留学生注意查看, 以免漏掉重要信息。

### 1) 留学生登记卡

本校留学生需要提交“留学生登记卡”。请填写必要信息后, 与在留卡、护照一起尽快提交给国际教育中心。

### 2) 关于大学登记信息的变更

搬家住址、手机号码发生变更等时, 请务必向学生服务课提交变更申报表。该申报表可从各学部办公室领取。

※如果不办理上述的变更手续, 在有重要通知或者紧急事项时, 将无法与您取得联系。请注意。

※在留资格更新后, 一旦拿到新的在留卡, 请迅速将新在留卡的复印件提交给留学生支援中心(国际教育中心办公室)

### 3) 关于临时回国/海外旅行

在学期期间如临时回国时, 请务必事先与您所在学部办公室商量, 获得批准后, 办理必要手续并通知国际教育中心。

如果您去海外旅行, 请直接来国际教育中心通知我们。

请在本中心办公室领取表格, 正确填写预定出国日期(离境和入境日), 紧急联络方式等。

## 2. 有关在留资格

### 1) 关于在留资格

本校在籍留学生的在留资格主要是“留学”

※从其他在留资格向“留学”在留资格变更时,请在入国管理局办理在留资格变更手续。所需材料请在以下法务省网站上确认。

【法务省】在留资格变更许可申请:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-2.html>

【法务省】留学:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/student.html>

### 2) 在留期间更新

**更新在留期限的手续通过在留管理系统“JOINS”办理。**

在您当前的逗留期限临近时,您将收到申请更新逗留期限的通知到您的大学电子邮件地址。

系统会自动向在留期限两个月后到期的学生发送通知。

按照电子邮件中的说明,在指定日期前更新申请人信息。

→有关如何使用“JOINS”的详细信息将在新生说明会上进行说明。

※办理申请手续时需要留学生支援中心(国际教育中心内)发行的2张材料,该材料不能当日发行,请提早使用“JOINS”系统向留学生支援中心申请办理。

这2张材料以大学的名义,根据成绩、取得的单位数、出席率等情况填写,成为入国管理局判断学生是否满足“留学”资格的依据。如果大学认为申请者不满足“留学”资格,便不会发行该材料,留学期间的更新便无法顺利进行。此外,学业不佳的学生,入国管理局不给予更新也是有可能的。以“留学”资格就学于日本的各位留学生,希望你们平时认真学习,不要荒废学业,请充分注意。

申请时 also 需提交经费支付书、与申请相关的问卷、证明经费支付的资料(汇款证明、日本的存折、奖学金领取证明)。

※没有存折只有现金的情况有可能不被认可,敬请注意。另外,借贷他人财产存入自己的账户的钱也不被认可。

※有资格外活动许可(打工)收入的申请者,请提交收入凭证(存折账户)。这会成为证明你具有支付学费能力的一个有力依据。

#### 【所需资料】

- 在留期间更新申请书(附有照片)※申请人填写的材料3张和大学填写的材料2张
- 护照  在留卡(双面复印)  在学证明
- 成绩证明(最近1年的成绩。前一年度若在城西大学/城西短期大学以外的教育机关学习,请将该教育机关发行的毕业证明也一并提交)
- 证明经费支付的资料  手续费4,000日元(领取新在留卡时缴纳)

※根据成绩、取得单位数、之前所在教育机关的种类、在籍状况等,也有可能需要提交其他材料。

※更新在留期间时,同时申请资格外活动许可会比较方便。

※具体需要的材料和其相关信息,请在以下法务省网站确认。

【法务省】留学/在留期间更新:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/student.html>

★在留期间更新后,请尽快将新取得的在留卡复印件提交给留学生支援中心(国际教育中心办公室)。

### 3) 资格外活动许可书

为了贴补学费和留学期间的各项花费,有的留学生会打工。而打工的前提是获得资格外活动许可。通过账户转账方式获得的打工收益可以证明你有一定经济能力,这会对申请在留期间起到帮助。

《关于活动内容》

- 每周28小时以内
- 长假期间为每天8小时以内,每周40小时以内

《所需资料》

- 资格外活动许可申请书
- 护照
- 在留卡(双面的复印件)

※在打工时,需要向打工的地方提交个人专用编号。(请参照P10)

#### 【从事资格外活动(打工)时的注意事项】

留学生禁止在风俗行业、性行业从事打工活动。

留学生不允许在舞厅酒馆、夜总会、酒吧、麻将店、游戏厅、游戏中心、情人旅馆、成人用品商店、舞厅等,一切与性有关的的风俗店里打工(包括保洁)。在大街上发放与上述店铺有关的传单、纸巾或为其做宣传,也视为违法行为。一旦被发现有可能被驱逐离境,因此,需要充分注意。



## 4) 从本校毕业后以就职为目的继续留在日本时

### (1) 关于“特定活动签证”

毕业后想留在日本继续参加就职活动时,在留资格需要从现在所持有的“留学”更换成“特定活动”。毕业后不能够继续以留学签证参加就职活动。

- “特定活动”资格变更的对象仅限于从在学期间开始到毕业后一直参加就职活动的学生,毕业后才开始就职活动的人不在资格变更的对象范围内。换句话说,3月份毕业的学生需要从3月份之前,9月份毕业的学生需要从9月份之前就开始就职活动。
- “特定活动”的在留期限为6个月,在此期间仍然没有决定就职公司,要继续参加就职活动的人,允许一次更新(在留期限为6个月)。申请延长与申请资格变更时一样,需要准备相同的材料,请各自保管好你们参加就职活动的记录。
- “特定活动”仅限于大学毕业后以就职活动为目的的留学生为对象,其他理由不能申请。
- 具体信息请参照法务省的主页。

「致各位大学毕业后想在日本进行就职活动的各位留学生」

[https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan\\_nyukan84.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan_nyukan84.html)

### (2) 申请“特定活动签证”所需要的材料

- 在留资格变更许可申请书 1份
- 照片(竖4cm×横3cm) 1张
- 护照和在留卡 原件
- 证明申请人有能力支付在留期间一切费用的材料 适当
- 由申请前所在籍的大学提供的毕业文凭(复印件)或者毕业证明书 1份
- 由申请前所在籍的大学提供的就职活动推荐书 1份
- 证明继续在参加就职活动的材料

※ 申请时,由日本方面发行的证明材料需要全部在发行日3个月之内。

### (3) 关于就职活动推荐书

请准备好以下材料,到国际教育中心进行申请。

- 护照、在留卡 原件
- 毕业文凭(复印件)或者毕业证明书 1份
- 证明持续进行就职活动的材料 至少3个公司以上

**注意事项:**关于证明持续进行就职活动的材料

- 客观地证明曾经参加就职活动资料  
应征的公司所提供的记录了“申请”“书面材料选考合格与否”“面试时间地点”“第一次面试合格与否”等信息的材料。以上材料必须记载“应征公司的公司名”“应征者姓名”和“日期”。

- 只应征的话,学校是不能写推荐书的。请提出证明应征过程及应征结果的材料。
- 需要一段时间持续参加就职活动。“一天参加了三个公司的应征”“三天每天参加了一个公司的应征”,这样的话即便应征公司满足3个以上的条件也不予以承认。
- 需要在在学期间内就开始进行就职活动,以及可以证明它的材料。
- 推荐书申请当天不能够发行。以上的材料集齐后,原则上申请第二天可以来取推荐书。但是材料不齐的话,要需要更长的时间,甚至有可能不予发行推荐书。请充分认识这点,提前申请。

★申请书请从以下法务省的主页上下载。

- ◎ 在留资格变更许可申请书:  
<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/designatedactivities14.html>
- ◎ 资格外活动许可申请书:  
<https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-8.html>
- ◎ 在留卡汉字姓名标记申请:  
[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10\\_00019.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00019.html)

## 5) 关于所属机构电报手续

持有“留学”在留资格的学生,必须按照法务省令规定的程序,在变更所属学校后 14 日以内,向出入国在留管理局提交“有关活动组织的申报”。请务必自行完成手续。

※如果您是城西大学、短期大学毕业升读,您可能需要也可能不需要提交,因此请检查以下内容。

<需要提交的学生>

其他教育机构 毕业 → 城西大学·城西大学研究科·城西短期大学入学  
城西短期大学 毕业 → 城西大学 入学  
城西大学别科 毕业 → 城西短期大学 入学

<不需要提交的学生>

城西大学学部 毕业 → 城西大学研究科 入学  
城西大学别科 毕业 → 城西大学学部·城西大学研究科 入学

◎出入国在留管理厅 所属机构电报手续

<https://www.isa.go.jp/zh-cn/applications/guide/shozokutodokede.html>

## 6) 东京出入国在留管理局

<https://www.moj.go.jp/isa/about/region/tokyo/index.html>

办公楼所在地：东京都港区港南

5-5-30

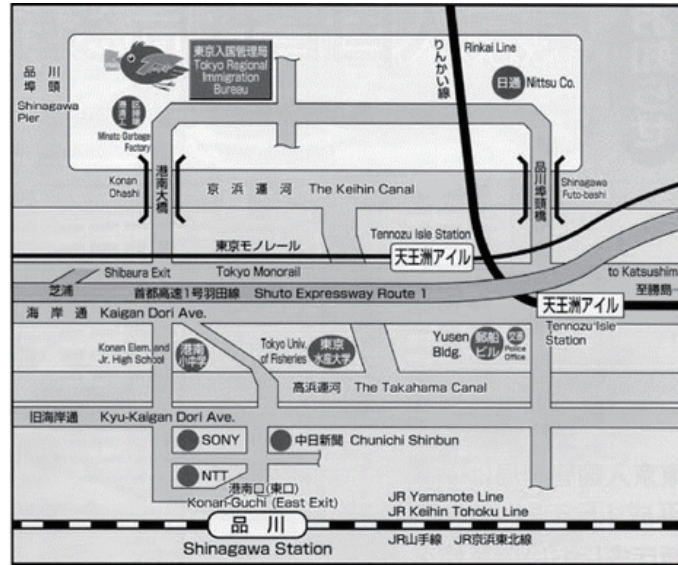
电话号码：03-5796-7111

交通工具：从JR品川站港南口(东口)乘坐都巴士⑧号公共汽车站“品川埠头循环”，在“东京出入国在留管理局前”下车→乘坐东京单轨或者JR临海线(埼京线延长线)天王洲ISLE站下车，步行15分钟

受理时间：9:00~12:00/

13:00~16:00

(星期六、日和节假日除外)



## 东京出入国在留管理局・埼玉办事处

※ 在留卡住址为埼玉县的学生可以在埼玉办事处办理手续。

所在地：埼玉县埼玉市中央区

下落合5丁目2番1号

埼玉第2法务综合办公楼1楼

电话号码：048-851-9671

交通工具：JR埼京线

与野本町站下车步行10分钟

受理时间：9:00~12:00/

13:00~16:00

(星期六、日和节假日除外)

【从城西大学的前往方式】

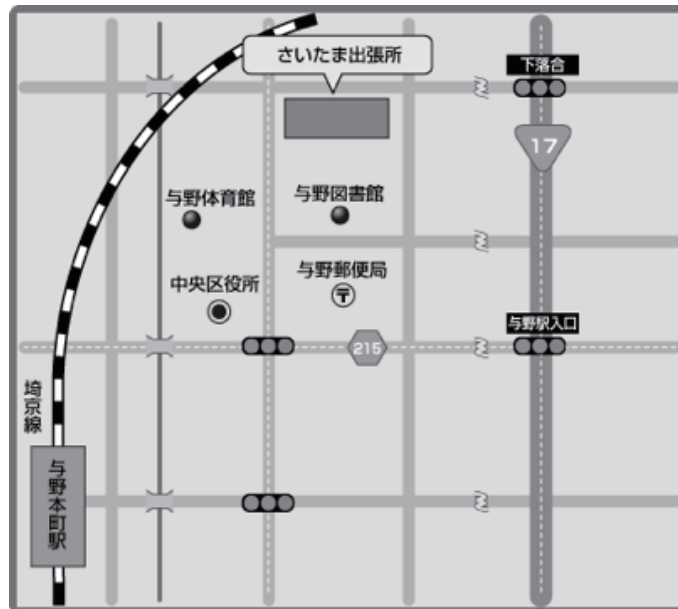
(用时约1小时30分钟。)

### ◆方式1

川角站(东武越生线)~约10分钟 → 坂户站(东武东上线·池袋方向)~约10分钟 → 川越站(JR埼京线·新木场/新宿方向)~约30分 → 与野本町站~步行约10分钟

### ◆方式2

川角站(东武越生线)~约10分钟 → 坂户站(东武东上线·池袋方向)~约30分钟 → 朝霞台站…(步行约2分钟)…北朝霞站(JR武蔵野线·南船桥方向)~约7分钟 → 武蔵浦和站(JR埼京线·川越方向)~约5分钟 → 与野本町站~步行约10分钟



## 3. 有关生活

### 1) 住宿

自费留学生主要通过房屋租赁公司自己寻找寄宿或者公寓。

寻找公寓时，找到满意的房屋后，作为之后将正式签约的约定，有时需要支付“部分合同金”，确保房地产商不会将该房屋出租给他人。这种“部分合同金”有“定金”以及其他各种名称，在取消合同时(解约时)，可能会发生纠纷。作为“部分合同金”而支付的费用大多不会退还。

※付款前请向房东或房地产商确认如下事项

- 必须弄清楚支付的款项属于什么性质？该款项在解约时会不会退还？原则上在自己决定正式签约之前不支付任何费用。
- 向房东和房地产商询问的事项要求其以书面形式(文章)提供。
- 对合同书进行仔细阅读，如有不明之处应不断提问，直至明白为止。

### 《与住宿合同相关的用语》



【房租】 1个月的房费

【押金】 针对房租滞纳和房屋损伤的保证金。

在退房时，该款项在扣除房屋的修理费之后，如果还有剩余，将会退还给你。

【礼金】 签约时向房主(房东)支付的一次性费用。不退还。

【中介手续费】 在通过房地产商租房时，向房地产商支付的手续费。

※未经许可，将签约的房屋让他人居住属于违规行为。另外，在搬离房屋时，请在全部结清房费等费用之后，腾空房屋。

※在搬离房屋时，请结清煤气、自来水、电等费用。

### 2) 在留卡

持留学签证入境的留学生在日本机场会领取到在留卡(或者登录住址后在留卡会邮寄到家里)。在日本滞留期间，外出时必须随身携带在留卡。如果被警察或车站工作人员要求出示在留卡，请配合他们的检查。此卡是合法入境的证明。请注意妥善保管，防止丢失。

#### (1) 关于住址申报

确定住处后，必须在14天之内向距离最近的区或者市町村(区政府、市政府、町公所)的住址管理窗口进行申报。搬家后，也同样需要在14天之内向居住地的区或市町村进行申报。

## (2) 住址以外信息的变更申报

在留卡所记载的住址以外的信息(姓名、出生年月日、性别、国籍、地区)发生变更时,请在变更日14日之内向居住地所属的地方入国管理官署进行申报。

必要的材料请在以下法务省主页确认。

【法务省】住址以外信息的变更申报:

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10\\_00009.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00009.html)

【法务省】地方入国管理官署:

<https://www.moj.go.jp/isa/about/region/index.html>

## (3) 关于在留卡再发行的申请

如果在留卡丢失、被盗,应立即向警察申报,索取证明,并在14天之内向入国管理局申请新的在留卡。

此外,在留卡被销毁、发生明显破损或遭毁坏时,也应该立即申请新的在留卡。

## 3) 关于再次入境手续的办理

持有效护照和在留卡的外国人需暂时离开日本时,离境时必须提交再入国出入境记录卡,以表示有再入国的意向。

如果离境后1年内还会回到日本,离境时在提交在留卡的同时,请务必在“再入国用出入境记录卡”的“1.暂时离境,有再入国计划。”选项中打钩(✓)。如果忘记打钩,则不能再次入境,所以需要充分注意。如果在留期限于离境后1年以内到期时,请在该在留期限到期之前入境。

有关详情请通过入国管理局的网站进行确认。

【法务省】入国管理局

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/minashisainyukoku\\_00001.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/minashisainyukoku_00001.html)

※再次入境时需提交在留卡。

※回国、离境时必须向本中心进行申报

回到日本机场,如果身体有明显的异常或不适,请在通关时进行申报。回到日本一段时间后感到不适的人请与保健所等联系。

## 4) 国民养老保险

在日本,20岁以上的居住者需要加入国民养老保险,每月必须交付保险费。

持有“留学”或其他中长期滞在在留资格的20岁以上的外国人也必须加入国民养老保险。学生无收入的情况下可以申请保险费的免除。

## 5) 国民健康保险

在日本外国留学生和中长期滞在者必须加入国民健康保险。

国民健康保险的投保手续在办理迁入手续的市政府(区政府·町公所)国民健康保险担当课办理。请携带护照和在留卡,在文件中填写必要事项,提交给担当窗口后,领取国民健康保险卡。

在投保国民健康保险时,需要每月支付保险费。保险费的数额是根据前一年的收入决定的。学生无收入的话,向市政府提交申请可以减少保险费。在医疗机构出示国民健康保险卡,治疗者便只需要承担医疗费用的30%。

※有些治疗不在保险与医疗补助的适用范围之内。

例:针灸治疗、短期住院体检、健康诊断、美容整形、预防注射等。

在日本办理各种手续时,国民健康保险证是重要的身份证明,请注意不要丢失,也不要借出借进。



### 因交通事故而受伤时



治疗费用由肇事者承担,不能使用国民健康保险接受诊断治疗。为了避免因意外事故而受到损害,建议投保市·区政府主导的“交通灾害共济”保险。

## 6) 个人专用编号(社会保障与税收编号制度)

个人专用编号是指每个居住在日本的居民所拥有的12位的个人编号。在居民登陆的地方自治体可以领到通知卡,通知卡上记载着每个人的专用编号。想要个人专用编号卡的人通过申请便可获得。今后大家在办理各种手续时都需要使用个人专用编号(个人编号)。个人专用编号将终生使用。除了发生个人专用编号信息泄漏,有被非法使用的风险的情况之外,编号终生不会变更,请妥善保管。有关详情请通过政府宣传在线网站

[https://www.gov-online.go.jp/list/ct2\\_mynumber.html](https://www.gov-online.go.jp/list/ct2_mynumber.html)进行确认。

## 7) 关于免除所得税

中国留学生可全额免除所得税。依据日中租税条约第21条,打工获得的收入用于留学生本人及旅日家人的生活和教育上时,可全额免除所得税。其他国家的留学生因国家而异,请直接向距离最近的税务署(源泉所得税课)或者税务咨询室咨询。另外,“申报书”表格从各税务署领取。



## 8) 生活礼节方面的相关信息

### (1) 垃圾的处理

- 家庭产生的垃圾包含很多种类,处理方法也各不相同。在日本,很多地区将垃圾分成可燃烧类、不可燃烧类等进行回收。
- 各地方自治体对垃圾的分类方法和收集日期有明确的规定,请按照您所居住的地方自治体的分类方法和收集方法,正确地投放垃圾。  
(需要注意的是,如果错误地投放垃圾将不被回收,还会对周围的人造成困扰。)

#### 垃圾的分类举例·以坂户市为例

- 【可燃烧垃圾】纸屑、木屑、小树枝、生活垃圾、皮制、革制或化纤制品等
- 【不可燃烧垃圾】鞋类、塑料制品、锅、铝制品、玻璃制品等
- 【资源垃圾】塑料容器、饮料瓶、塑料瓶、罐、瓶
- 【资源纸】报纸、宣传单、杂志、纸盒箱、纸袋
- 【资源布】各种衣服



### (2) 关于噪音

- 在日本,为了能够更舒适的生活每个人都尽量避免发出噪音或是过大的生活杂音。特别是住在公寓、居民楼等集合住宅,由于住宅构造问题说话声音和脚步声都有可能影响到旁边或是楼下的邻居,所以请充分注意不要因为噪音而引起任何不必要的矛盾。不仅仅是白天,晚上更要特别注意。

### (3) 关于交通工具使用的礼节

- 在利用公共交通工具时不要用手机通话。电车、巴士内大声说话,在指定场所之外放置随身物品的行为会给周围人带来很大的困扰。请不要做那种不好的行为。

### (4) 关于SNS的使用

- 网络纠纷每年都在增加。据法务省的报告,由于网络的不正当使用常有被骗、被威胁、被发送不道德照片,或是上传的照片或视频侵害他人著作权、肖像权、个人隐私,以及被身份不明伪装成他人的骗子欺骗、钓鱼、诈欺等事件频繁发生。

为了能够安全便利的使用网络,请确认好SNS社交网络利用法。

【法务省】网络纠纷事例锦集(2022年度版)

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/jireishu.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html)

### (5) 关于自行车、摩托车的驾驶

- 行人靠右侧通行、汽车、自行车靠左侧通行
- 禁止两个人骑一辆自行车或骑车时不开指示灯
- 摩托车和自行车应停放在指定地点,停放时必须上锁
- 禁止使用他人停在路边的自行车(属于犯罪行为)
- 在购买新自行车时,应在购买的店铺办理防盗登记。购买二手自行车(已登记的自行车)时,应索取转让证明,并在登记的警察署办理登记变更手续。



- 在东京都、埼玉县、神奈川县等,法令规定必须加入自行车损坏保险等。

请查看当地政府的网站并加入保险。

东京都 <https://www.tomin-azen.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/anzennriyou-sokushin/jitenshahoken/>

埼玉县: <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0311/jitensya/jitensyajyourei.html>

神奈川县: <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f5g/310322.html>

### (6) 自然灾害

在日本除了地震之外,由于大雨、台风引起的灾害也时常发生。为了在灾害发生时做到不焦急不慌乱,平时理解并学习如何在紧急情况时对应、避难,准备好储蓄品和紧急情况时的随身携带物就显得尤为重要。

在政府宣传网站上有对防灾和灾害对应的重要信息,请认真阅读。

[https://www.gov-online.go.jp/list/ct1\\_saigai\\_fukko.html](https://www.gov-online.go.jp/list/ct1_saigai_fukko.html)

以下是在政府宣传网站(内阁府大臣办公厅政府宣传室)官网上截取的信息。

- 地震发生时,如何保护自己

在家中:用坐垫等保护好头,远离大家具,躲在结实的桌子下。不要慌张地跑去外面。发生火灾时,如果可能的话灭火,如若远离火源时不要强行接近火源。

屋外:围墙和自动贩卖机有倒塌的危险请远离。除此之外,还要远离建筑物。因为广告牌,碎玻璃有坠落的危险。

- 提前为水电煤气供应停止等情况做准备

大灾害发生时,电气、煤气、下水道、通信设施等有无无法正常运行的可能性。为了能够在没有供应的情况下自力生活,从平时就需要储存适量的饮料水和救急食物。自己的房屋受到灾害时,到安全的场所避难后也许会被要求暂时在那里生活。那时所需要的必要物品(紧急情况时的随身携带物)需要提前装在背包里,以备不时之需。

- 请积极参加由学校组织的避难、防灾训练。

## 9) 父母后援会

学生就读期间“父母后援会登记书”中填写的父母如有一方去世,请与本中心联系。

## 4. 有关学业

### 1) 履修

#### (1) 关于履修

在日本,大学生需要自己选择想要学习的科目。这叫做“履修”。想学习的科目决定好后,向大学提交的申请叫做“履修申请”。提交“履修申请”是在每年度伊始最重要的事情。也是每个年度都必须提交的申请。



#### (2) 履修方法

关于履修方法,外国留学生和普通学生基本相同。但是需要注意的是,外语科目的履修方法与日本学生不同。请从入学到毕业有计划、分阶段地进行履修。请仔细阅读“学生便览”、“课程计划”、“授课课程表”等资料,在充分理解各种注意事项的基础上提交履修申请。提交了错误的履修申请,有可能会对升学年和毕业造成影响。如果对履修有不清楚的地方,请务必向自己所属学部的事务室进行咨询。

#### (3) 履修申请

履修申请不允许有任何漏登或错登。如果在这里出现失误,将导致听了一年的课,也参加了考试,但该科目被做无效处理的后果,因此,在申请时必须充分注意。为了避免以上情况,学校会向学生发放“履修确认表”,对自己申请的科目进行重新检查。请大家各自进行确认,如果有错误,请在所属学部的事务室办理订正手续。

上述“履修申请”和“履修确认表”相关手续均是由大家自己负责办理的,是大家自己的责任。如果有不清楚的地方一定要到所属的学部事务室进行确认。

### 2) 关于考试

考试分为以下几种。

(1) 定期考试:在校历中标明的学期末或者学年末的考试期间进行的考试。

(2) 补考:针对因疾病或者其他不得已的原因而无法应考的学生进行的考试。详细规定参见学生便览,参加该考试需要在所属学部的事务室办理特殊的手续。

(3) 重考:详细规定参见学生便览。

考试的目的在于检验平时的学习成果,因此,必须以端正的态度予以对待。请仔细阅读学生便览,并充分注意,不要漏看考试时间等重要信息。



※参加考试时,必须将学生证放在课桌上。如果考试当天忘了带学生证,请向学生服务课借临时的考试许可证。

※依据学生守则,作弊行为将受到严厉的处罚,严重者会导致留级。作为学生来说,是非常不光彩的事情。请一定不要作弊。

### 3) 自费外国留学生学费减免制度

本校有针对自费在籍外国留学生(别科的学生除外)的学费减免制度。在要求时间内缴纳学费、有良好的出席率等是申请学费减免(在留资格为“留学”)的前提。另外,符合下列任意一项的学生不具备学费减免资格。

①上一学年成绩评价指标低于学校规定标准的学生(二年级及以上)

②根据上课出席情况,被认为没有意愿继续学业的学生(学校极为重视出席率)

③学习成绩不佳,被认为不能完成学业的学生

④经济上毫无困难的学生

⑤留级的学生

⑥正在休学的学生

⑦违反本校学生守则或规则,被认为品性有问题,不符合本校要求的学生

※每年5~6月份时会召开说明会,需要减免奖学金的留学生请注意确认留学生官网和校内的公告栏。

### 4) 奖学金

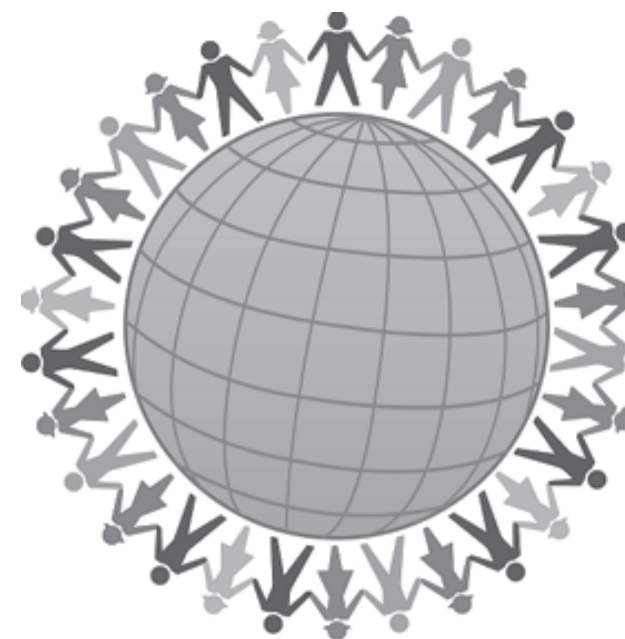
在物价很高的日本,能否获得奖学金直接影响到留学生对学习的专注程度。本中心向留学生提供奖学金的征集信息,并帮助大家进行奖学金申请工作。奖学金大体可分为两类,一是通过大学申请的奖学金,二是直接由个人申请的奖学金。与上述奖学金相关的通知将张贴在国际教育中心办公室前的公告栏以及大学网站上,请注意查看。其中,部分奖学金因申请资格等原因不会进行公开征集。

※HP的奖学金信息请在城西大学网站(首页)>留学生の方>奨学金 进行确认。

## (资料) 紧急联络簿

对象地区	<b>【机关名】</b> 电话/地址
全 国	<b>【警察】</b> 电话: 110
	<b>【消防・救急】</b> 电话: 119
	<b>【AMDA国际医疗信息中心】</b> 医疗关联的电话对应服务。 电话: 03-6233-9266 (星期一~星期五 10:00~15:00 用简单的日语对应) (HP) <a href="https://www.amdamedicalcenter.com/">https://www.amdamedicalcenter.com/</a>
埼 玉	<b>【埼玉县救急电话商谈】</b> 突患疾病或突然受伤时, 护士会对如何在家里进行处理和是否有必要去医疗机构就诊等方面进行商谈。 电话: 7119 或 048-824-4199 (每天・24小时) (HP) <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20151214.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20151214.html</a>
	<b>【外国人综合商谈中心埼玉】</b> 通过电话的方式提供与生活方面相关的商谈服务。 电话: 048-833-3296 (星期一~星期五 9:00~16:00) FAX: 048-833-3600 / e-mail: sodan@sia1.jp (HP) <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/sogo-sodan.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/sogo-sodan.html</a>
东 京	<b>【东京消防厅救急商谈中心】</b> 突患急病不知如何去医疗机构接受治疗时的商谈窗口。 商谈医疗小组提供24小时问询服务, 通过电脑、手机等方式回答提问, 确认疾病的紧急度。電話で相談: 7119 (HP) 网络指南 (东京版救急指南): <a href="http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html">http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html</a> (HP) <a href="http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/kyuu-adv/soudan-center.htm">http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/kyuu-adv/soudan-center.htm</a>
	<b>【东京都 福祉保健局】</b> 外语对应的医疗机构指南服务。 电话: 03-5285-8181 (每天 9:00~20:00)
	<b>【东京都 医疗机构、药局的指南服务】</b> 提供东京都内医疗机构和药局情况的网站。 (HP) 要寻找医疗机构和药局的话: <a href="https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/index.php">https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/index.php</a>
城西大学 (总机) 电话: 049-286-2233	
留学生支援中心・国际教育中心 电话: 049-271-7731 / e-mail: iec@stf.josai.ac.jp	

# Guidebook for International Students





# Contents

## 1. International Student Support Center

- 1) International Student Registration Card ..... 2
- 2) Procedures of the Contact Information Change ..... 2
- 3) Temporary Return / Overseas trip ..... 3

## 2. Status of Residence

- 1) Extension of Period of Stay ..... 3~4
- 2) Permission to Engage in Activity other than that Permitted  
under the Status of Residence Previously Granted ..... 5
- 3) To continue Job-hunting in Japan after Graduation ..... 6~8
- 4) Notification of affiliation ..... 8
- 5) Tokyo Regional Immigration Services Bureau ..... 9~10

## 3. Living Guide

- 1) Accommodation ..... 11
- 2) Residence Card ..... 12
- 3) Procedure of Re-entry ..... 13
- 4) National Pension ..... 13
- 5) National Health Insurance ..... 13~14
- 6) Individual Number (My Number) ..... 14
- 7) Exemption of Income Tax ..... 15
- 8) Information on Daily Living ..... 15~17
- 9) Parents Association ..... 17

## 4. Schoolwork

- 1) Course Registration ..... 18
- 2) Exams ..... 19
- 3) Tuition Reduction/ Exemption Scheme for Self-financed  
International Students ..... 19~20
- 4) Scholarships ..... 20

Emergency contact list ..... 21

# 1. International Student Support Center

International Student Support Center is located in the International Education Center.

The center provides consolation on daily living for international students.

Please feel free to come to our office if you encounter any difficulties.

Location : 4th floor Seiko Kaikan c/o International Education Center  
Office Hours : 9:00~11:30 / 12:30~17:00(Mon.~Fri.)  
Bulletin Board : beside Building No. 1 and outside of International Education  
Center(4F Seiko Kaikan)

Various information and announcement on events relating to international students are posted on the bulletin boards or the university website so please pay attention to them and do not overlook information.

[University Top > International Students \(留学生\)](#)

## 1) International Student Registration Card

International students admitted to the university are required to submit an “international student registration card.” Please fill out the form and submit it to the International Education Center as early as possible.

## 2) Procedures of the Contact Information Change

Please report to the Student Services Office when there is any change in your registered information, such as address, mobile phone number and so on. Fill in the form “Notification of change” and submit it to the Student Affairs Office. The form “Notification of change” is available at each faculty offices.

⇒ If you fail to submit the notification, the university will not be able to provide important information or contact you in case of emergency. Please be careful not to omit the procedure.

⇒ As soon as you receive the renewed residence card, be sure to submit a copy of both sides of the card to the International Student Support Center.

### 3) Temporary Return/Overseas Trip

If you plan a temporary return to your country, you need to consult with your faculty office about the plan and receive approval first, and then come to International Education Center and fill out the form "Notification of Temporary Return".

If you plan to travel outside of Japan, please come to our office and fill out the form " Notification of temporary leave".

Please make sure you write correct information, such as the date of departure and return, emergency contact and so on when filling in the form.

## 2. Status of Residence

### Status of Residence

Most of the foreign students enrolled in our university hold "college student" status.

In order to change your status to "college student" from others, you need to apply for change of status of residence at the immigration Bureau.

Please refer the URL below for current and detailed information on the procedure.

[The Ministry of Justice] Change of Status of Residence:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-2.html>

[The Ministry of Justice] Study abroad:

<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/student.html>

### 1) Procedures for Extending Period of Stay

**Procedure for extension of period of stay should be done through online management system for international students called "JOINS"**

**Students will get the notification for extension of the residential status when the expiration get close.**

**The notification will be sent automatically to the students whose expiration of the residential status is within 2months.**

**Follow the instruction in the email and update your applicant data by the deadline mentioned in the email.**

**Note : International Student Support Center will explain how to use the system during New Student Orientation.**

**Please note that the documents "For organization part 1 and part 2" will not be issued on the same day you make the request. Therefore, you should start preparation of the documents Using JOINS well in advance.**

The documents mentioned above will be issued after examining whether you have done enough school work to full fill your duty of "college student status" abide by the law. Therefore, your school work at Josai University or Josai Junior College, such as grades, number of credits earned and class attendance, will be closely examined. If the university find that you have not full fill your duty as a "college student status" holder, the documents "For organization part 1 and part 2" will not be issued which could results in not being able to apply for the extension. In addition, if your grades are poor, Immigration Bureau may deny your request to extend period of stay.

Therefore, if you have "college student status", always remember to full fill your duty noted above.

⇒ When you apply for the extension of period of stay, you are required to submit verifiable evidence of method to pay for expenses, such as Certification of the fellowship, Certification of remittances, Copy of a bank-book, etc. Please note that "carrying cash" may not be acknowledged as a method.

⇒ Depositing in your bank account by borrowing money from others is not allowed.

⇒ If you have a part-time job and use direct deposit as a method of receiving your salary, you will be able to use it as a statement of financial support.

### ◆ Required Documentations

1. Application for extension of period of stay  
[For applicant, part 1, 2, 3] [For organization, part 1, 2 (International Education Center)]
2. Passport (the original)
3. Residence card (copy of the both sides)
4. Certificate of Enrollment
5. Academic transcript, Attendance certificate (in the most recent one-year period. If your previous school was not Josai University/Josai Junior College, you must also submit a graduate certificate and official grade report of the previous school.)
6. Photo (40mm×30mm, taken within 3 months, attached to the application form)
7. Student's identification card
8. Fee (four thousand Japanese yen)  
Please buy a revenue stamp at the post office or the Immigration Bureau, affix it to a bond as the certificate for payment of fee.
9. Verifiable evidence of method to pay for expenses:  
\*Depending on your grades, number of earned credits, types of your previous school and your class attendance, you may be required to submit additional documents.

- ⇒ We recommend that you apply for “Permission for activity other than that permitted” when you apply for the extending period of stay.
- ⇒ Please refer the URL below for current and detailed information on the procedure.  
[The Ministry of Justice] Study abroad/Extension of Status:  
<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/student.html>
- ⇒ As soon as you receive the renewed residence card, be sure to submit a copy of both sides of the card to International Education Center.

## 2) Permission to Engage in Activity other than that Permitted under the Status of Residence Previously Granted

If you wish to do a part-time job to support yourself during your study, you must obtain the permission. If you have a part-time job and use direct deposit as a method of receiving your salary, you will be able to use it as a statement of financial support.

### ◆ Permitted activities

Working Hours: 28 hours per week.

\*During long holidays/ school holidays: 8 hours per a day, 40 hours per a week

### ◆ Required documents

1. Application for Permission to Engage in Activity other than that Permitted under the Status of Residence Previously Granted.
2. Passport
3. Residence Card
  - \*When you do a part-time job, you will be asked to submit “Identification Number (My Number)” by your employer.

### 【Precautions for Part-time Job】

Activities related to the adult entertainment business are prohibited, which include

Cabaret, night clubs, bars, mah-jongg parlors, pachinko or slot machine parlors, amusement arcade, sex-related industries, and dance halls.

It is also strictly prohibited working at adult-related entertainment establishment, including cleaning and handing out tissues or flyers for the related organizations.

Please note that he/she could be deported if an international student is found working in such a place.

## 3) To continue Job-hunting in Japan after Graduation

### ◆ Designated Activities Visa

If you are International students who wish to stay in Japan to continue job-hunting after graduation, you need to change your residence of status from “Students” to “Designated Activities”. After graduation, you are not allowed to look for employment with “Student” status.

⇒ Designated Activities is for international students who start job-hunting while they are still in school. If you start job-hunting only after graduation, you cannot apply for “Designated Activity” visa. Thus if you are graduating in March, you must start job hunting before March, and the same applies to students graduating in September.

⇒ Period of stay of “Designated Activities” is six months. The status could be renewed only once for another six months if necessary.

Required documents for renewal is same as change of status of residence from “Student” to “Designated Activities” so you need to keep all the documents regarding job-hunting, and keep track of your job-hunting record. “Designated Activities” visa is only for those who job-hunt. You cannot apply for the visa for any other purposes.

⇒ For more details, please refer to the link below.

Ministry of Justice:

“For those who wish to stay in Japan after graduation to continue job hunting”

[https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan\\_nyukan84.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan_nyukan84.html)

### ◆ Application documents for change of status of residence “Designated Activities”

1. Application form (Application for Change of Status of Residence) 1copy
  2. Photo (4cmx3cm) 1copy
  3. Passport and residence card
  4. Documents prove that you can cover the all expenses during your stay in Japan.
  5. Copy of Diploma or Certificate of Degree from either Josai University or Josai Junior College
  6. Recommendation Letter issued by Josai University
  7. Evidence of your continuous job hunting activity
    - You must bring the evidences when you apply for Recommendation Letter.
- \* All documents must have been issued within three months prior to submission.



#### ◆ To apply for Recommendation Letter

⇒ You can apply for the letter at [International Education Center \(4F, Seiko Bldg\).](#)

⇒ Necessary items/documents:

1. Passport and Resident card (present the original)
2. Copy of Diploma or Certificate of Degree from either Josai University or Josai Junior College
3. Evidence of your continuous job hunting activities. You must present the evidence of three or more companies

**Notes :** Regarding the evidence of your continuous job hunting activities :

- i. You are required to show progress of your job hunting objectively. You must present the documents a, b, and c stated below for each company.
  - a. Confirmation message (e-mail) from the company to confirm your registration
  - b. Result of document screening and the result.
  - c. Invitation of first round interview, and the result.

\* All the evidence mentioned above must contain a company name, applicant's name and the date.
- ii. Confirmation e-mails of registration by itself is not enough to issue Recommendation Letter. You must present progress after the registration to prove your continuous job-hunting, such as results of selection or etc.
- iii. Continuous job-hunting means that you continue to look for a job over several months. The University would not acknowledge activities as continuous job-hunting, such as entering three companies in one day or entering a company in a day for three days.
- iv. You must prove that you have started job-hunting while you were still enrolled in the university.
- v. Recommendation Letter will be issued next day if you bring all necessary items mentioned above. Issuing of the letter would be delayed or may not be issued if any documents or item are missing.

⇒ You may download, print and use the application forms (pdf or excel) from the links.

- ▶ Application for Change of Status of Residence  
Ministry of Justice (Japanese)  
<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/designatedactivities14.html>

Immigration Service Agency of Japan (English)  
<https://www.isa.go.jp/en/index.html>

- ▶ Application for Permission to Engage in Activity other than that Permitted under the Status of Residence Previously Granted  
Immigration Service Agency of Japan (English)  
<https://www.isa.go.jp/en/applications/procedures/16-8.html>

- ▶ Application for indication of name using kanji characters on the residence card  
Immigration service agency of Japan (Japanese)  
[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10\\_00019.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nyuukokukanri10_00019.html)

#### 4) Notification of affiliation

When international students who hold "STUDENT" status change the organization which they belong to, they are mandated by law to submit "NOTIFICATION OF THE ACCEPTING ORGANIZATION". Therefore, if it applies to you, you must submit the notification to the Immigration Service Agency within 14 days.

Those who enrolled in Josai University or Josai Junior College after graduated from one of the programs at the university may not need to submit the notification. Please refer to the list below to find out if you are mandated or not.

《Students who are mandated to submit the notification》

- ◆ Enrolled in Josai University/ Josai Junior College after graduated from the other organization.
- ◆ Enrolled in Josai University after graduated from Josai Junior College
- ◆ Enrolled in Josai Junior College after graduated from Japanese Studies Program "Bekka" at Josai University

《Students who do not need to submit the notification》

- ◆ Enrolled in Graduate School of Josai University after graduated from Josai University (undergraduate)
- ◆ Enrolled in Josai University (undergraduate) / Graduate School of Josai University after graduated from Japanese Studies Program "Bekka" at Josai University

- ▶ Notification Procedures for Affiliated Institutions, etc.  
Immigration Services Agency of Japan  
<https://www.isa.go.jp/en/applications/guide/shozokutodokede.html>

## 5) Tokyo Regional Immigration Services Bureau

<https://www.isa.go.jp/en/about/region/tokyo/index.html>

You need to go to the office when you apply for procedures, such as change of status of residence, permission for extending period of stay, re-entry permit (wish to re-enter Japan after more than one year), etc.

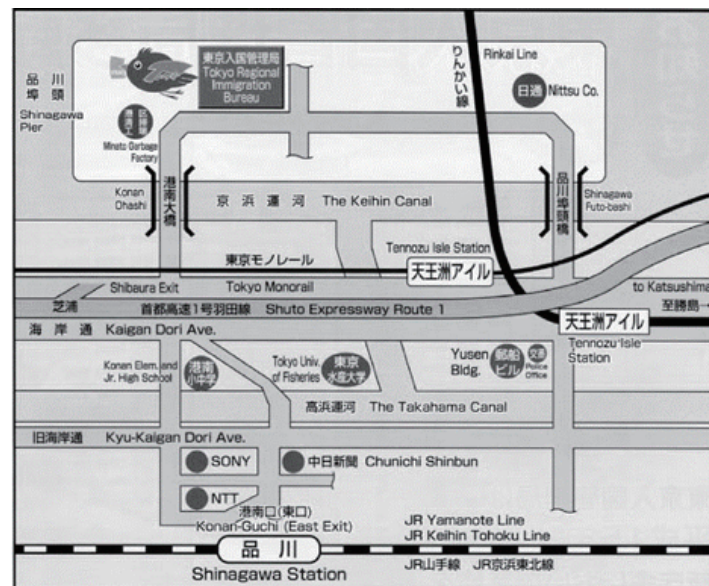
### 【Tokyo Regional Immigration services Bureau】

5-5-30 Konan, Minato-ku, Tokyo Pref.

TEL: 03-5796-7111(Main number)

#### How to Access :

\*Toei bus “Shinagawa Futo Junkan” or “Tokyo Nyukoku-Kanrikyoku orikaeshi” from JR Shinagawa station Konan-Guchi (East Exit). Please get off at the bus stop “Tokyo Shutsu Nyukoku Zairyu -Kannrikyoku mae” 15 minutes’ walk from “Tennouzu-Isle station” (South Exit) of Tokyo monorail or “Tennouzu-Isle station” (Exit A) of Tokyo Rinkai Line (Saikyo Line).



### 【Tokyo Regional Immigration Services Bureau-Saitama Branch Office】

5-12-1, Shimo-ochiai, Chuo-ku, Saitama City, Saitama Pref.

TEL 048-851-9671 (Main number)

#### How to Access :

10 minutes’ walk from “Yono-honmachi station” (East Exit) of Saikyo Line.

\*If your address on the resident card is a one with Saitama prefecture, you can also apply for procedure at Saitama Branch Office.

#### Directions from Josai University (approx. 1.5hour)

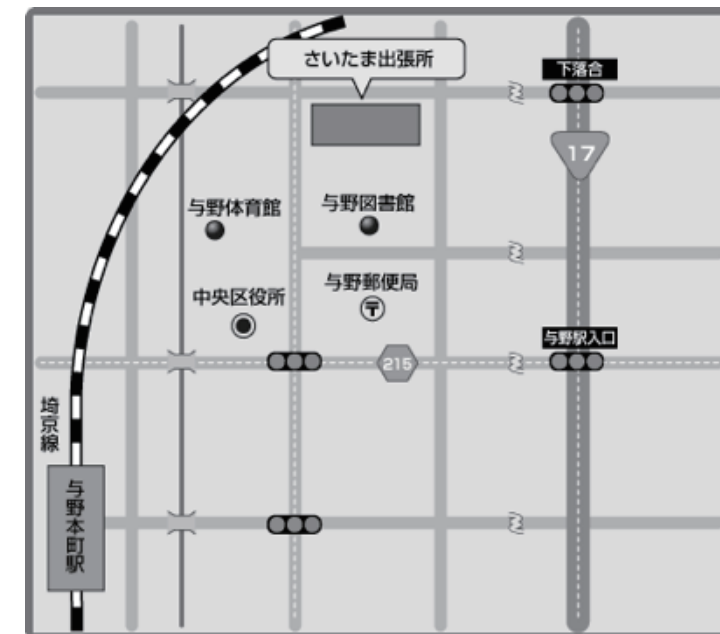
\*Kawakado Station (Tobu Ogose line) 10min ⇒

Sakado Station (Tobu Tojyo line·bound for Ikebukuro) 10min ⇒

Kawagoe Station (JR Saikyo line·Bound for Sinkiba/Sinjyuku) 30min. ⇒

Yono-honmachi Station (10min. by walk) ⇒ Saitama Branch Office

\*Kawakado Station (Tobu Ogose line) 10min ⇒ Sakado Station(Tobu Tojyo line·bound for Ikebukuro) 30min ⇒ Asaka Station(2min. by walk)···Kitaasaka Station (JR Musashino line·Bound for Minamifunabashi) 7min. ⇒ Musashiurawa Station (JR Saikyo line·Bound for Kawagoe)5min. ⇒Yono-honmachi Station(10min. by walk) ⇒ Saitama Branch Office



## 3. Living Guide

### 1. Accommodation

Self-financed International students mainly find an apartment through real estate agency or a boarding house on their own.

When you find an apartment that you like, you might be asked for a deposit to secure your priority to sign the contract of the property. Money will be taken as a commission of the agency, deposit, or key money after signing the contract. The deposit can be called in many names such as "Tetuskekin".

Please be careful with making a deposit because in many cases the money is not returned even if you cancel signing of the contract.

Ask questions listed below to the landlord or the real estate agency before making any payments;

- ⇒ What are the payments for, and if the money would be returned when you cancel the contract. It is essential that you do not make any payments until you are certain about renting the property
- ⇒ Ask the landlord or the real estate agency to put down in writing all the information you obtained from them.
- ⇒ Have full understanding of the contract, and receive full description of the counterpart before you sign

#### 《Terms used when looking for rooms》

- ◆ "Yachin" (Rent)  
Monthly fee for renting a room.
- ◆ "Shikikin" (Deposit)  
It is a deposit to pay to a landlord as a security for time when you were behind with a room charge (rent) payment. When you leave the room, the deposit is refunded if there is no outstanding payment and no damage of the room.
- ◆ "Key money" (Reikin)  
It is a mandatory payment to the landlord. This money is considered a gift to the landlord and is not returned after the lease is canceled.
- ◆ "Intermediate fee" (Chukai Tesuryo)  
It is a fee/commission paid to the real estate agency.  
  
⇒ It is a violation of contract if you let others live with you without the permission from the landlord.  
⇒ Before you move out the apartment, you must pay rent and other fees, such as gas, water, and electricity, and so on.

### 2. Residence Card

Please be sure to carry the residence card all the time during your stay in Japan. It is a card to prove you are a legal resident, and you must be able to show it whenever you are asked by police officers or train station staff. Please be careful not to lose the card.

#### ◆ Move-in & Move-out notice

If you newly enter Japan and find your accommodation, be sure to submit a "Move-in Notice" within 14 days at your local municipal office.

When you move, you must submit "move-out notice" at the local municipal office prior to moving out, and submit "move-in notice" to the local municipal office of your address within 14 days, after moving.

#### ◆ Submitting notice of information change

Make sure to report to the immigration bureau if there is any change in your registered information except your address, such as your name, date of birth, gender, and nationality/region.

#### ◆ Lost of Residence Card

If you lost your residence card, go to a police station and obtain a report of the loss as early as possible, and apply for reissue at the Immigration Bureau within 14 days.

Also apply for reissue when your resident cards get notably damaged or spoiled.



### 3. Procedures for Re-entry

If you wish to re-enter Japan within one year, you should express the will to re-enter Japan at the time of the departure with "DISEMBARKATION CARD FOR REENTRANT".

Please make sure to check ✓ the statement  1. I am leaving Japan temporarily and will return in the "DISEMBARKATION CARD FOR REENTRANT" and also present your residence card to the immigration officer. If you failed to do those procedures, you will not be able to re-enter Japan. If your expiration date is in less than one year after your departure, please ensure that you re-enter Japan before the expiration of your period of stay.

Please refer the URL below for current and detailed information on the procedure.

[The Ministry of Justice] Immigration Bureau:

[https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/minashisainyukoku\\_00001.html](https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/minashisainyukoku_00001.html)

⇒ Do not forget to submit your residence card upon re-entry.

⇒ Always notify the International Education Center when departing/re-entering Japan.

If you feel ill upon returning from your home country, please notify customs. If you notice a change in your physical condition after re-entry, please contact the public health center.

### 4. National Pension

All people aged 20 and over are obligated to enroll in the National Pension, and must pay contributions every month. It applies to all mid-to long term residents, including "student status holder" aged 20 and over, irrespective of their nationality.

If you have difficulty making monthly contributions since you are a college student and do not have much income, you can apply for the exemption at your local municipal office.

### 5. National Health Insurance

Japanese government requires all mid-to-long term residents to have a health insurance. Apply for the National Health Insurance at your local municipal office where you submitted Move-in notice. Bring your residence card and student identification card to "Kokumin Kenko Hoken" section, and fill out forms at the desk. After the procedure, the local municipal office will issue "National Health Insurance Card".

All the insured are required to pay monthly premiums, which are calculated based on annual income of previous year.

There is a reduction system of premium for low income earners. In order to be eligible for the reduction, you must file your income for the preceding year at the municipal office, and the annual income must be less than a set amount.

If you receive medical care due to injury or illness, you only pay for 30% of total medical fees by presenting your health insurance card.

Note that there are medical treatments which are not covered by the insurance; Acupuncture and Moxibustion Therapy, Complete Medical Checkup, Medical examination, Cosmetic surgery, Preventative injection, etc.

In Japan, National Insurance Card is used as an identity document at important occasions, so be careful not to lose or lend it to others.



#### **When injured in a traffic accident**

National Health Insurance will not cover the cost since the offender is obligated to pay for the treatment. To be fully prepared for any accident, we recommend joining the mutual aid traffic accident insurance plans offered at the city/ward office.

### 6. Individual Number (My Number)

You will be notified of your 12-digit Social Security and Tax Number (also called Individual Number or "My Number"). A notification card with the number will be mailed to each resident from your municipal office, and the Individual Number Card will be issued for those who are interested. Unless the number or information of the bearer is leaked and there is a risk of illegal use, the number will never be changed because the same number will continue to be used throughout the bearer's lifetime. The number and the card should be handled with extreme care.

Please visit the following URL for more info:

[https://www.gov-online.go.jp/list/ct2\\_mynumber.html](https://www.gov-online.go.jp/list/ct2_mynumber.html)

## 7. Exemption of Income Tax

Chinese students are eligible for a total exemption from income tax. Based on article 21 of the Japan-China Tax Treaty, students' income from part-time jobs can be totally exempt from income tax if it is used for the sustenance, education, etc., of the student and his/her family in Japan. International students from other countries should consult with their nearest tax office (ask for the withholding tax faculty) or tax information office as rules differ for each country. Notification forms are available at all tax offices.

## 8. Information on Daily Living

### 《Disposal of trash》

- ◆ Household trash contains various kinds. Because there are different disposal methods depending on the type of trash, burnable and non-burnable trash are collected separately in many areas in Japan.
- ◆ Every city has own rules for trash sorting. You should follow the local rules for the sorting and the schedules of trash collection.  
Please be careful not to make mistakes when taking out trash. If you do, the trash will not be collected, and it will cause troubles to your neighbors.

### An example of trash sorting : Sakado-city

Burnable : Paper waste, Wood scraps, Twigs, Biodegradable trash, Fabric, Leather, Nylon products.

Non-burnable : Shoes, Plastic items, Metal items, Pot & Pans, Aluminum products, Glass products, etc.

Recyclables : Plastic containers, Pet bottles, Cans, and Bottles

Recycle Papers : Newspapers, Fliers, Magazines, Carboards, and Paper drink cartons.

Recycle Fabric : Clothes



### ◆ Noise

To live pleasantly with others, people are careful not to make loud noises and household noises that bothers neighborhood. Especially if you live in a housing complex, such as an apartment, your voice and footsteps may bother your neighbors due to its structure, and you could get in trouble with them because of it. Therefore, you should be careful about making noises not only at night, but also in a day time.

### ◆ Manners on public transportations

On public transportation, you should refrain talking on the phone. In addition, you should be careful not to bother other passengers by talking loudly with your friends or place your luggage other than the designated areas.

### ◆ SNS

Problems involving the internet are increasing. According to Ministry of Internal Affairs and Communications, those incidents are as follows; being forced to send indiscreet images due to trick or thread, violation of copyrights, infringement of portrait right and personal rights by uploading on SNS without permission, damages of spoofing, phishing fraud and internet fraud.

To use the useful internet safely, you should check proper way to use SNS.

[Ministry of Internal Affairs and Communications] Internet trouble case studies 2022

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/jireishu.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html)  
(Japanese)

### ◆ Riding bicycles and motorbikes

- ⇒ Pedestrians use the right side of the road, while automobiles and bicycles use the left side.
- ⇒ Do not ride double, and do not ride in the dark without a headlamp on.
- ⇒ Parking is permissible in designated areas only. Your bicycle/motorbike should never be left unlocked.
- ⇒ Do not ride abandoned bicycles (this is a crime)
- ⇒ To prevent crime, newly purchased bicycles must be registered at the place of purchase.
- ⇒ For second-hand bicycles or bicycles already registered, you must receive a certificate of transfer and change the registration details at the police office with which the original registration was made.
- ⇒ In some prefectures, such as Tokyo, Saitama, Kanagawa and so on, you are mandated to enroll in a Bicycle liability insurance by law. Please visit the website of your municipality and check if you are mandated or not, and make sure to enroll in the insurance before you ride on a bicycle.

Tokyo : <https://www.tomin-anzen.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/kakusyutaisaku/jitensha/anzenriyou-sokushin/jitenshahoken/>

Saitama : <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0311/jitensya/jitensyajyourei.html>

Kanagawa : <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f5g/310322.html>

#### ◆ **Natural disasters**

Japan is a country that has many earthquakes. There might be other natural disasters caused by heavy rain, typhoon and so on. Therefore, to prevent you from getting panicked in an event, you should always know what to do, and make sure you have disaster supply kit and emergency supply to take out with you when it happens.

You can find useful and very important information on disaster prevention by government public relations :

[https://www.gov-online.go.jp/list/ct1\\_saigai\\_fukko.html](https://www.gov-online.go.jp/list/ct1_saigai_fukko.html) (Japanese)

The followings are extract from the government public relation's HP

⇒ Know how to protect yourself when earthquake happens

While indoors : Protect your head with cushion, keep distance from large furniture, and shelter under a desk or something with strong structure. Please do not rush to the outside.

In case of fire, put the fire out if possible. If you are far away from the origin of the fire and escaping from the place without putting it out, do not try to go near it.

While outdoors : Stay away from any object that could fall, e.g. vending machine and etc.

Also get away from buildings in a hurry because signs on buildings or shards of broken windows could fall down.

⇒ Be prepared for the stop of lifeline service and evacuation

Major disaster could cause the stop of lifeline service, such as electric, gas and telephone line. Therefore, you should always prepare emergency supplies, such as water and emergency rations.

In case your house get affected by the disaster, you need to escape to an emergency shelter and stay there for a while for your safety. Therefore, you should also always prepare emergency supplies that you would need while staying there to take out with you.

⇒ Always participate evacuation drill/emergency training when the university conduct them.

#### **9. Parents Association**

In the event of the death of the person stated as your parent in the Parents' Association registration form (the person paying your tuition) while you are enrolled in the university, please contact the International Education Center.

## 4. Schoolwork

### 1. Course Registration

#### ◆ **About course registration**

At university you are required to choose the courses you wish to attend. In order to attend classes, you have to register the courses. Course registration is a very important procedure to be conducted at the start of the academic year. It must be done every academic year.

#### ◆ **How to register**

The registration process is basically the same between international students and domestic students. However, please note that the process for foreign language subjects differs from those of Japanese students. Please make sure to plan ahead until graduation when you register your courses. Students are required to read the "student handbook," "syllabus", "class timetable" and other materials carefully and understand the various precautions before registering their courses. Any mistakes in the course registration could affect your promotion or graduation. If you have any questions regarding course registration, please make sure to consult the faculty office.

#### ◆ **Application for registration**

The university will register your courses based on your application for course registration and create attendance lists and lists of students' records. It is therefore crucial that you register every single course properly. Registration must be done with the utmost care since any mistakes at this stage will mean that, even if you attend a course for a year and take the exam, the results will be invalid.

Please note that it is the responsible of each student to complete the all registration procedure without error. Therefore, ask the faculty office if you have any question regarding the procedure.





## 2. Exams

### **There are different types of exams :**

1. Regular exams : Exams to be conducted during the end-of-term or end-of-year exam periods stated in the academic calendar
2. Make-up exams : Exams for students who couldn't attend exams due to illness or other reasons. Details can be found in the student handbook. Students must complete specific procedures at their faculty office in order to take a make-up.
3. Reexaminations : Please refer to the student handbook for details.

Exams measure the results of your daily studies, and must be taken very seriously. Please read the student handbook carefully and make sure you do not miss the exam date announcements on the bulletin.

- ⇒ You must place your student ID card on your desk when taking an exam. If you forget your ID card on the day of the exam, please ask the Student Services office for a temporary certificate for examination.
- ⇒ Under university regulations, cheating will attract severe penalties. It will often require the student to repeat a school year, and is an extreme dishonor. Never do act of dishonesty.

## 3. Tuition Reduction/Exemption Scheme for Self-financed International Students

There is a tuition reduction/exemption scheme for full-time self-financed international students, excluding research students and Japanese Language Program students.

In order to qualify for the scheme, eligible students (those who holds the "student" status) must pay the tuition by the stated deadline, and also to have high rate of attendance in their classes. If you met any of statements below, you are not allow to apply for the reduction :

1. The student whose grade from the previous year does not meet the evaluation scale of the university. This statement applies to second year students and above.
2. Based on attendance and other factors, the student is assumed to have no intention of continuing his/her studies (We place emphasis on attendance rate).
3. The student is demonstrating poor academic performance and is unlikely to complete his/her studies.
4. The student is not experiencing financial difficulties.
5. The student is repeating a school year.
6. The student is taking an absence from school.
7. The student has violated school regulations and other rules, or has acted in such a way as to suggest he/she lacks the qualities appropriate for a student of the university

Information sessions of the scheme are held in May or June every year. If you are eligible and wish to apply the scheme, please carefully check the university's website or the bulletin board in front of the center.

## 4. Scholarships

The center provides information about scholarships for international students, and also operates as an application office for some scholarships. Broadly speaking, there are two types of scholarships: one requires an application to be made through the university, while the other does not require the involvement of the university and students are required to apply individually. For both types, the International Education Center will notify students through the bulletin board in front of the center or/and Homepage of the university, so please watch closely for new information. Please note that for some scholarships, due to certain qualifications or other reasons, there will not be an open call.

You can find information of scholarships on the HP: Top> International Students>Scholarship

## Emergency contact list

Your address	《Institutions》 <i>Contact information</i>
Japan	<b>《Police》</b> <i>Tel: 110</i>
	<b>《Fire and Ambulance service》</b> <i>Tel: 119</i>
	<b>《AMDA International Medical Information Center》</b> Telephone consultation services regarding medical related matter. <i>Tel: 03-6233-9266 (Mon-Fri 10:00 ~ 15:00 consult using easy Japanese)</i> <i>HP: <a href="https://www.amdamedicalcenter.com/">https://www.amdamedicalcenter.com/</a></i>
Saitama	<b>《Emergency telephone consultation》</b> Telephone medical consultation in urgent situation. Nurses answer phone calls, and consult what you can do at home and degree of urgency to see a doctor. <i>Tel: 7119 or 048-824-4199 (24/7 365days)</i> <i>HP: <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20151214.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/20151214.html</a></i>
	<b>《Saitama Information &amp; Support》</b> Telephone consultation services regarding medical related mat <i>Tel: 048-833-3296 (Mon-Fri 9:00 ~ 16:00)</i> <i>FAX : 048-833-3600 / e-mail : <a href="mailto:sodan@sia1.jp">sodan@sia1.jp</a></i> <i>HP: <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/sogo-sodan.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/tabunkakyousei/sogo-sodan.html</a></i>
Tokyo	<b>《Tokyo Fire Department emergency consultation》</b> Telephone medical consultation in urgent situation. Consultation staffs answer phone calls 24/7 365days. Or access HP and answer some questions to find out degree of urgency to see a doctor. <i>Telephone consultation: 7119</i> <i>Net de Guide (Tokyo kyukyu jyushin guide/ 東京版救急受信ガイド)</i> <i><a href="http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html">http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html</a></i> <i>HP:<a href="http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/kyuu-adv/soudan-center.htm">http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/kyuu-adv/soudan-center.htm</a></i>
	<b>《Tokyo Metropolitan Government》</b> Medical institution information providing service in forging languages <i>Tel: 03-5285-8181 (every day 9:00 ~ 20:00)</i>
	<b>《Medical institution and pharmacy information services》</b> Provide information of medical institution and pharmacy in Tokyo Metropolitan City <i>HP: <a href="https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/index.php">https://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq13/qqport/tomintop/index.php</a></i> <i>(Search medical institution and pharmacy)</i>
Josai University	049-286-2233
International Student Support Center	049-271-7731/ <a href="mailto:iec@stf.josai.ac.jp">iec@stf.josai.ac.jp</a>

**城西大学 留学生支援センター(国際教育センター内)**

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL 049-271-7731

E-mail: [iec@stf.josai.ac.jp](mailto:iec@stf.josai.ac.jp)

(2023年4月発行)

**城西大学 留学生支援中心(国际教育中心办公室内)**

邮编350-0295 埼玉县坂戸市KEYAKI台1-1

TEL 049-271-7731

E-mail: [iec@stf.josai.ac.jp](mailto:iec@stf.josai.ac.jp)

(2023年4月发行)

**JOSAI UNIVERSITY INTERNATIONAL  
STUDENT SUPPORT CENTER**

(Located in the INTERNATIONAL EDUCATION CENTER)

1-1 Keyaki-dai, Sakado-shi, Saitama 350-0295

Tel 049-271-7731

E-mail: [iec@stf.josai.ac.jp](mailto:iec@stf.josai.ac.jp)

(Published April 2023)